



十人十彩

IKENOBOTO TEN
JUUNIN
TOIRO

いけばなの根源

池坊展

2018年

5月16日[水]~21日[月]



一次展:16日[水]・17日[木] / 二次展:18日[金]・19日[土] / 三次展:20日[日]・21日[月]

日本橋三越本店 本館7階催物会場

ご入場時間=午前10時~午後6時30分(午後7時閉場)

※最終日は午後5時30分まで(午後6時閉場)

主催=一般財団法人池坊華道会

後援=朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、日本経済新聞社、産経新聞社、東京新聞

入場料=900円【税込】第一・第二会場共通 ※高校生以下無料 着物でお越しの方は入場無料



MITSUKOSHI

日本橋本店

www.mitsukoshi.co.jp

十人十彩

(じゅうにんといろ)

花にも人にも、それぞれ個性があります。
その個性を引き出しながら、
自分色にまとめていく。同じ花をいけても、
全然違う作品になるのが“いけばな”。
花も人も、それぞれに美しい。
多様性を認め合い、生かし合う。

じゅうにんといろ
“十人十彩”をテーマに、華道家元四十五世池坊専永、次期家元池坊専好をはじめ、関東近郊で活躍する池坊の華道家と、池坊いけばなを学ぶ学生による約500作を展示します。花と向き合う中で紡ぎ出される、“十人十彩”の世界をお楽しみください。

撮影 & SNS OK

自由花コーナー

みづか よ はな 自らに由りて花となす

じゅうか
「自由花」は、作者の人となり、想いがより濃く反映される花形です。
同じ花材や器を用いても、作者が変われば一つとして
同じ作品になることがなく、まさに“花は人を表す”という
言葉の通りとなります。

本展覧会では、〈器〉の形状や素材からのアプローチ、
〈色〉からのアプローチ、〈飾り方〉の表現など
様々な切り口から自由花の可能性を引き出しつつ、
みづか よ はな
“自らに由りて花となす”

(=自分自身をよりどころとして作品をいける)
というテーマのとおり、作者の個性が投影された
自由花の醍醐味ともいえる作品の数々を展示します。



写真は過去の展覧会のものです。

学生いけばな展示 “未来へとつづく道”

日本の伝統文化が見直されている今、教育の中でも伝統文化「いけばな」が取り入れられています。池坊いけばなを学ぶ学生、児童たちによる想いをこめた作品を、ぜひご覧ください。